

議員行政視察報告

日 時 令和3年11月8日～9日

参 加 者 大館 秀孝、齋藤 永、井上 栄一、田代 実

視察場所 埼玉県吉川市、蓮田市 群馬県草津町

吉川市 JR吉川美南駅開発

JR吉川美南駅東口から見た区画整理事業地59・1haの広大さに圧倒された。見渡す限り段差なしの平坦地に幹線街路の工事が進んでいるが、残念なことに輪郭までの工事現場であつた。

しかしながら、これから完成予定の令和9年度に向かつて、堅実に事業が推進していることに、羨ましさを感じた。

この地区の区画整理事業が順調に進んだのは、

市街化調整区域の地区人口が101人（36世帯）、全建物戸数が57戸と少ない事であつた。

また、平成24年に開設したJR吉川美南駅の整備と併せて、西口側の区画整理事業が先行して実施されたことが成功例となつて、東口側の地権者にとつて大きな刺激となつている。

吉川市長をはじめ、幹部が地権者と一丸となつて取り組んだ事業の成功例と言える。近い将来の吉川市の自主財源の大幅な増加に、確実に貢献している事業であると感じた。

なお、蓮田市では、行政センター所長より、蓮田市西口駅の再開発について、説明を受けた。

（記・田代 実）

草津町

介護保険事業

低額の介護保険料の経緯

現在草津町の介護保険料基準額は3300円で

あり、北海道音威子府村と同額で日本一安い介護保険料となっている。

群馬県内の他市町村の介護保険料は、5100円から6800円である。

低額の介護保険料を維持できる理由について

草津町の人口は6177人、65歳以上人口2468人、高齢化率39・65%である。

草津町の65歳以上の就業者数は全業種で856人と多く、高齢者人口の就業者比率は35%となっている。主要産業はやはり宿泊業・飲食サービス業が1766人、47・3%を占めており、うち65歳以上は444人25%と他の産業と比べ突出している。

高齢者の地域診療機関や介護施設の利用状況

東京都健康長寿医療センターの新聞医師の20年に及ぶ診療などから「につこり検診」は通常の検診項目に加え、新聞医師が関わり「食品摂取多様

性スコア」「活舌」「歩行機能」「F・F・M（筋肉量の目安）」「心の状態」「友人などとの交流頻度」などから総合評価（フレイル）として「栄養・体力・心理・社会面の赤判定の個数」「フレイル度」を結果とし、該当者への介護予防教室・認知症相談会等への参加を勧奨していることで、要支援・

要介護状態防止のための施策による結果が低額の介護保険料を維持できる一つの要因となっている。地域の観光施設における高齢者の雇用、雇用促進策について

低額な介護保険料にできる社会的要因としては、高齢者の就業形態、宿泊業等の雇用需要によりいつまでも就業が可能であるとの説明があり、草津温泉の旅館に宿泊したが、旅館での高齢者の働いている状況からいつまでも働く環境が提供され、町も主要産業の宿泊業の振興に力を入れている。

まとめ

草津町の介護保険料が低額な基準額を維持できている理由は、宿泊業という高齢者でも就業できる労働環境の中で、雇用需要も持続され、その結果、高齢者の生きがい・働く意識を高め、健康維持につながった。

新聞医師が関わった「につこり検診」によるフレイル状態が的確に把握でき介護予防事業へとつなげることができるため、要支援者・要介護者を低減することができた。以上草津町の説明・資料・宿泊施設の状況などから推測しました。

（記・井上 栄一）

